

日本声楽発声学会

学会通信 40号 2018年（平成30年）10月発行

会員の皆さま

今夏は、殊の外の酷暑の上、全国にわたり多くの台風や地震の被害を受けました。会員の皆さまに於かれましては、ご無事でございましたでしょうか、お伺い申し上げます。

さて、学会通信40号をお届け致します。今回は、学会の動向とお知らせに絞って掲載いたします。

2018年度は、5月27日に、第107回の例会・総会（お茶の水女子大学の大講堂（徽音堂）を皮切りに、8月20日、21日には、2018年度夏季研修会（日本福音ルーテル東京教会）を開催、「歌の集い」の演奏会も含め、会員の皆さまのご協力により、何れもレベルの高い内容をもって盛会裡に終わることが出来ました。

- 1) 次回は、11月25日（日）に、第108回例会を開催致します。会場は例年の東京藝術大学の校舎をお借りしての予定で現在準備を整え、縷々進行に努めておりますが、例年では、会員による研究発表を行っております大講義室（5-109）が、藝大の外部借用の方法が見直され、1ヶ月前まで借用の許可がいただけないことになりました。第6ホールの使用許可はいただいておりますので、全行程第6ホールで行う可能性もありますことをお含みおきください。
- 2) 第108回例会ご案内については、正式な例会ご案内を同封いたしておりますが、ここでは、プログラムのタイトルのみ次頁に掲載し、多くのご参加をお待ちいたします。
- 3) 去る5月の総会で、学会の諸規程の見直しを提案し、皆さまの賛同を得て、2018年6月からその諸規程に沿って運営致しております。ここでは、これからの動向として、その諸規程の大きく変わりましたところのみ拾い、ご確認をいただきたく掲載しております。ご確認くださいご協力をお願い致します。
- 4) 現会長、現理事役員は、2019年5月末日をもって、選手交代いたします。その選挙が、今年の12月頃から始まり、お手元に選挙要項が届きます。その選挙方法が変わりますのでご確認ください。細則に具体的な変更規程が記されておりますのでお目通しください。

5) 支部、編集委員会規程が見直されました。学会誌へ投稿の論文提出日の変更、また詳細な変更がございますので、併せお間違いのないようご確認をよろしく願いいたします。

本学会が、ますます活発な研究の場となりますよう、研究発表等、皆さまの積極的なご協力を心よりお待ち申し上げます。

2018年10月 会長 永井和子

1. 諸規程見直しについて

2018年5月27日(日)に開催されました第54回総会におきまして、本学会の諸規程が大きく見直されました。主な見直しの箇所を以下の3点にまとめます。会員の皆さまにおかれましては、それぞれの条項をご参照いただきまして、ご確認いただきますようお願いいたします。

1. 会長・理事選出方法改正 — 第11条、12条、14条、細則4
2. 支部見直し — 細則2
3. 編集委員会規程、研究発表規程、 — 第3条

以上の条項は、2018年6月1日より施行いたしております。

但し、現会長、現理事の任期期間は、2016年6月1日～2019年5月31日までといたします。

2. 第108回例会プログラム

開会挨拶 9:55～10:00 会長 永井和子

A. 研究発表 10:00～12:00 (会場:当日ご案内) 司会 竹田数章

1. 藤田 明 (武蔵野音楽大学卒業、同大学専攻科修了、ラインラント音楽大学卒業、
聖学院大学名誉教授) 10:00～10:30

テーマ : 強い空気の流れを活用した発声のテクニックについて。
女声アンサンブル「グリュツィーネ」の演奏を交えての発表。

2. 北菌るみ子 (武蔵野音楽大学院修了。伊政府給費留学試験合格後渡伊、アルトゥー
ロトスカニーニ音楽学校元講師。二期会会員。声楽家)

10:35～11:05

テーマ : 日本のベルカント発声法に不足がちな胸声(ペット)発声(特に女声)訓練の重要性について。歌手を用いてレッスン形式にて実践発表。

しかし、今年も余すところ、ほぼ3ヶ月となり、私たち学会の理事の役目も来年の5月末日までですから、8ヶ月足らずを残すこととなりました。

3年任期の内の最初の1年間は、前の期の3年間に起きた大きなトラブルを引きずって、そのあと片付けに追われ、永井会長共々、私も日々汲々として過ごしてまいりました。しかし、3年目の今年度に入りまして、ようやく正規の学会運営に携わることが出来るようになってまいりました。

ひとえに永井会長の不屈の精神と、理事一同の一致団結したパワーであったり、会員の皆様の温かいご支援の賜物と心得、心から感謝いたしております。

さて、例年ですと、学会通信の事務局便りでは学会の動向と共に、例会報告や夏季研修会の報告等を致しておりましたが、今回は時間の都合もあり、それぞれの報告は次号の学会通信に、この秋の例会報告も兼ねまして、皆様にご報告をさせていただきたいと考えております。悪しからず、ご了承下さいますようお願いいたします。

私たちは、この秋の例会が終わりますと次の選挙の準備をせねばなりません。逼迫した財政のもとでの選挙となりますので、その費用も含めまして、事務局での準備は想像を超えて大変なものとなってまいります。今回の選挙は、今年6月1日をもって新しく制定された新規約に基づいて行われますので、その旨、会員の皆様には十分に留意していただき、投票して下さいますようお願いいたします。

どうぞ、皆様の健全なる精神の元に、力強いリーダーシップを持って、これからの学会を牽引して行ってくださる方々を選出して下さいますよう、心からお願いいたします。

日本声楽発声学会事務局（担当：安原道子）

〒215-0003 神奈川県川崎市麻生区高石4-11-14-409（安原）

E-Mail：info@jars-voice.org

Tel/Fax：044-577-2037

日本声楽発声学会Webサイト <http://www.jars-voice.org/>

郵便振替口座 00170-0-119920 加入者名：日本声楽発声学会

日本声楽発声学会

学会通信 第40号

2018年（平成30年）10月20日発行

発行者：日本声楽発声学会

編集者：永原恵三

印刷所：よしみ工産株式会社東京事務所

〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 本郷宮田ビル3F